

# 連続テレビ小説を生かした 観光振興とおもてなしについて

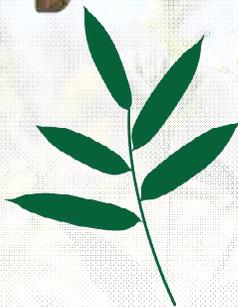
# 2023年春スタート NHK連続テレビ小説

高知県出身 日本植物学の父 牧野富太郎博士がモデル

## らんまん

好きなもののため、夢のため、一途に情熱的に進んでいく!!  
物語のスタートは高知、そして花の都・東京へー

主演 神木隆之介 さん  
ヒロイン 浜辺美波 さん



らんまんの舞台・高知

牧野博士の

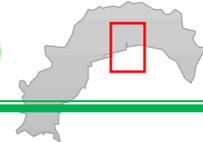
新休日 

Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

高知県立牧野植物園や牧野富太郎のふるさと  
佐川町、越知町を中心に、県全域で博覧会事業を展開!

プレ博覧会: 令和5年2月4日(土)~3月19日(日)

博覧会期間: 令和5年3月25日(土)~令和6年3月31日(日)



四季折々、  
3000種類以上が彩る

## 日本有数の植物園



南園に「新研究棟」  
2023年春OPEN予定!

研究の見学スペースや、キッズラボも登場。  
南園の景色が見える眺望抜群のレストランもお楽しみに!



外観イメージ

～温室や展示館など屋内外で楽しめる～

R4年度の特別企画展

The 160th Dr. Makino birth anniversary  
令和4(2022)年  
4.24

## 牧野富太郎 生誕160年



高精細な映像で  
植物の世界を  
体感できる4K  
映像のシアター  
も必見!

<前半>2022年4月24日～6月26日

牧野富太郎展 ～博士の横顔～

<後半>2022年10月8日～2023年1月22日

牧野博士と図鑑展



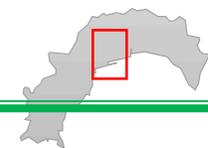
3階建て断面



レストランからの夜景  
(南園春のようす)



営業時間/9:00～17:00 料金/一般730円、高校生以下無料  
※夜間開園貸し切り応相談  
駐車場/一般183台、大型8台 お問合せ/088-882-2601  
場所/高知市五台山4200-6



## 牧野富太郎ふるさと館

牧野富太郎の生家跡地に建つ資料館



## さかわ・酒ぶら上町歩き～筆頭家老の城下町～

佐川町・上町とその近辺は司牡丹酒造の酒蔵が立ち並び、歴史を感じさせる落ち着いた佇まい。熟練のガイドが周辺の観光スポットをご案内。

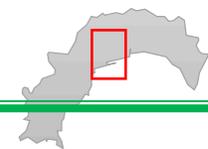


## 佐川文庫庫舎 (旧青山文庫)



展示室では博士の遺品や直筆の手紙、原稿等の貴重な品を展示。





## 牧野公園

約400種類の牧野博士ゆかりの山野草を中心に、  
500種類以上の植物が楽しめる公園



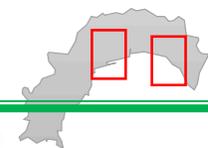
## 佐川町立青山文庫

幕末維新の生き証人であった、佐川町出身の元宮内大臣田中光顕(みつあき)が収集した志士たちの書状や画などの遺墨コレクションを中核に、主に近世・近代の歴史資料を収蔵。博覧会期間中は、牧野富太郎特別企画展を開催!



歩きやすく整備された公園内は、草花の紹介プレートもあり、全ての草花を愛した牧野博士の想いがボランティアによって受け継がれている。



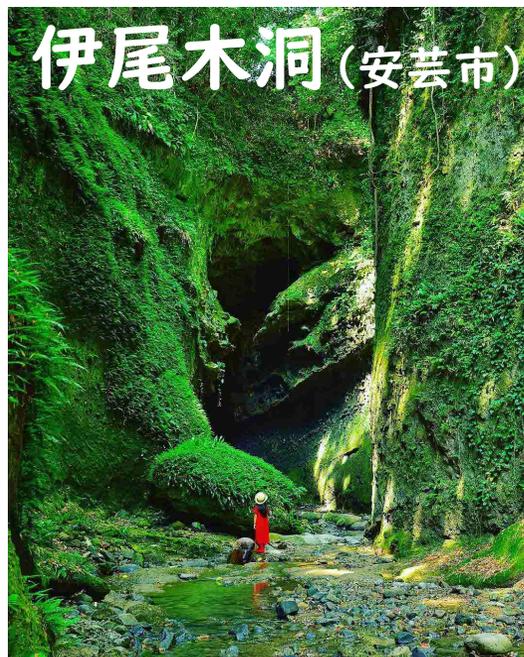


## 横倉山自然の森博物館 (越知町)



県内唯一の安藤忠雄氏の建築。牧野富太郎の植物スケッチや横倉山産の化石などを展示。本物の化石や隕石に触れられる体験コーナーも人気。

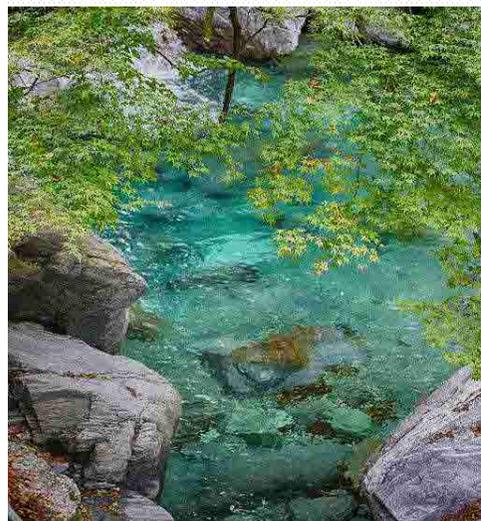
## 伊尾木洞 (安芸市)



国の天然記念物に指定されているシダ群落と、約300万年前に堆積した地層からなる神秘的な洞窟。牧野富太郎も何度か採集に訪れた。



## 近隣の「仁淀ブルースポット」



近くには映画「竜とそばかすの姫」の舞台となったスポットも!

# 連続テレビ小説を生かした博覧会基本計画書の概要

## 1 開催の目的（博覧会を通じて目指す姿）

連続テレビ小説の放送を契機として、以下の3点を強く意識して「いきいきと暮らしていける高知」の実現を目指す。

- (1) 多くの県民の皆様が、草花を育むなど博覧会を通じた活動に広く係わることで、地域全体が元気を取り戻すきっかけとなること
- (2) 牧野博士がその生涯を捧げた草花をテーマにした観光地づくりを進め、県観光の新たな基盤とするとともに、ドラマ終了後も地域の財産として残すこと
- (3) 従来の本県への主たる観光客層に加えて、ドラマをきっかけとして、親和性の高い「女性」「若者」などの新しいターゲット層を取り込み、「高知ファン」の厚みを増すこと

博覧会を通じて、なにげなく眺めている風景や、当たり前前に存在する自然の美しさ、地域の営みの魅力などに改めてスポットを当て、地域の活力やサステナブルツーリズムの基盤となるよう展開していきます。

## 2 開催概要

### (1) 基本方針

令和5年4月から放送される連続テレビ小説『らんまん』を県観光の振興に最大限に生かすとともに、ひたすら草花を愛し続けた牧野博士の精神や功績を後世に引き継いでいく取り組みを推進する。

#### <取り組みの3つのポイント>

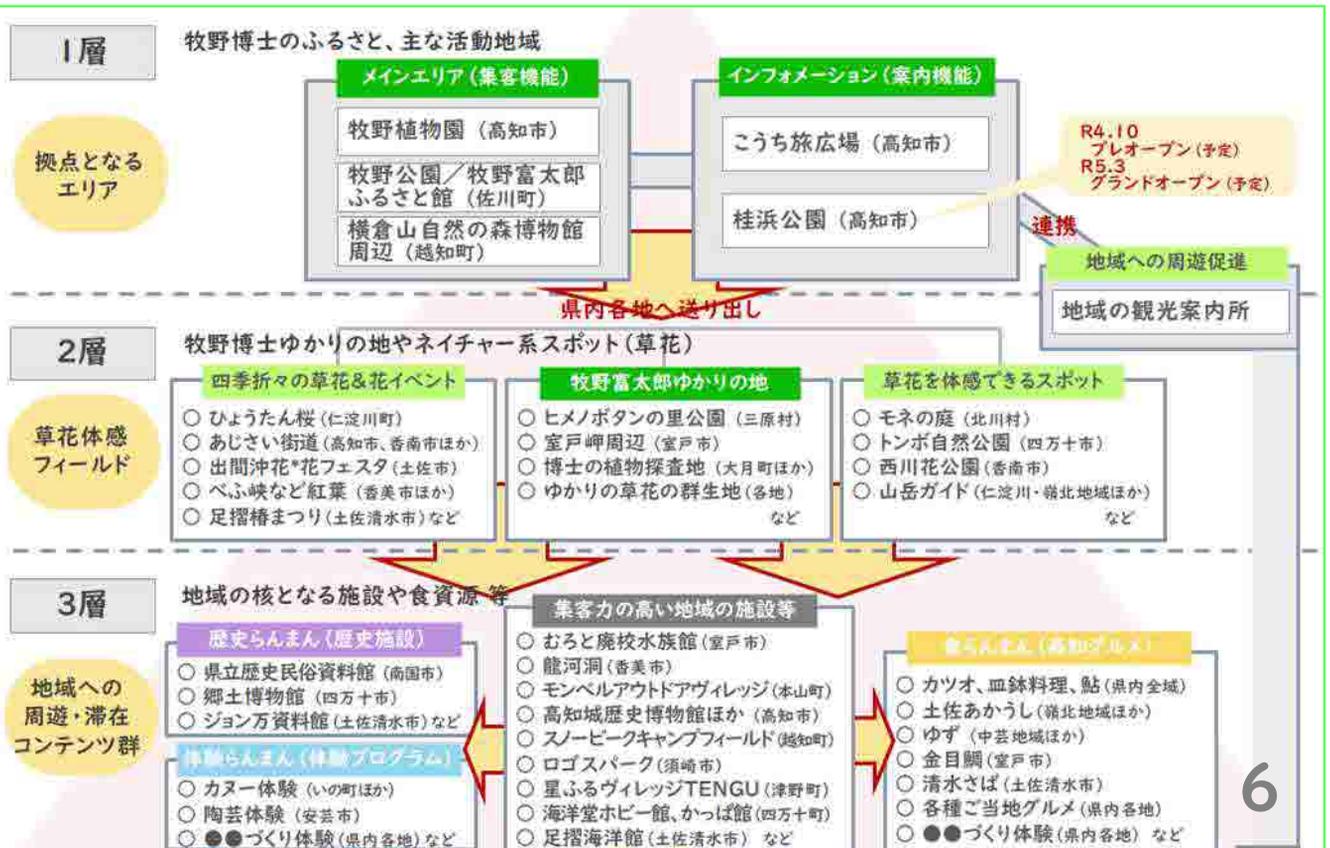
- ① コロナ禍により苦境が続いている県観光を復興させる起爆剤とする。
- ② 県民を巻き込んだ、官民一体の取り組みにより、牧野博士を生んだ高知県の魅力についてセールス&プロモーションを展開し、全国からの誘客を図る。
- ③ 県内各地域で牧野博士ゆかりの素材の発掘や磨き上げを進め、これまで磨き上げてきた地域の食・歴史・自然体験と連携し満喫していただけるよう、各地域での周遊や滞在促進を図る。

(2) 開催期間 令和5年3月25日（土）から令和6年3月31日（日）まで

(3) 事業主体 県、市町村、関係団体により組織する推進協議会を設置し、官民協働により事業を推進。

(4) 博覧会名称 牧野博士の新休日 ～らんまんの舞台・高知～

(5) メインエリア等



### 3 推進協議会の取り組み（受入環境整備）

#### (1) イベントの開催や周遊促進策

博覧会を盛り上げるイベントを開催するとともに、観光客を県内各地域へ誘う施策を展開し、滞在時間の延長や観光消費の拡大を図ります。

- ① プレイイベント
- ② オープニングイベント
- ③ 特別イベント事業
- ④ 周遊促進事業
- ⑤ 二次交通対策事業

#### (2) 地域の観光資源の磨き上げや観光客の満足度向上等

県内各地域の草花をテーマに観光資源を磨き上げて新たな基盤づくりを進めるとともに、県民が主体となったおもてなし活動を推進します。

- ① 地域支援事業
- ② 渋滞対策事業
- ③ 地域活性化事業

#### (3) 観光案内機能の強化

県内の旬の観光情報を提供できるように、市町村等と連携してインフォメーション機能の強化を図ります。

### 4 推進協議会の取り組み（誘致・広報）

#### (1) 基本方針

牧野博士のふるさと・高知を全国に訴求し、本県に注目を集める仕掛けをつくります。

プロモーションにあたっては、シニア層といった従来の主たる観光客層に加え、自然や植物に関心の高い女性層や若年層といった新たなターゲット層にリーチできるよう取り組みます。

#### (2) 連続テレビ小説を契機とした全国向けプロモーション

高知県や高知県観光コンベンション協会との連携を図りながら、牧野博士のゆかりのスポットはもとより、高知ならではの歴史・食・自然体験などの魅力を絡め、全国に向けたプロモーションを展開します。

- ① マスメディアを活用した広報
- ② 特設Webサイト、SNSの活用
- ③ PRツールの活用
- ④ 高知県、高知県観光コンベンション協会との連携によるプロモーション等

### 5 県・市町村・広域観光協議会の取り組み

#### (1) 将来にわたって活用できる観光基盤づくり

- ① 草花を生かした観光資源の掘り起こしや磨き上げを通じた新たなターゲット層の取り込み
- ② 草花を楽しめるスポット等と地域ならではの食、自然体験、歴史資源などを一体的に周遊できるコースづくり
- ③ 持続可能な受入環境整備の観点から、観光客に対するマナー啓発等

#### (2) 地域の草花ガイドの養成

- ① 地域の草花の魅力と現地でのストーリーをセットで解説できるガイドの養成
- ② 草花のガイドに加え、周辺の観光資源に関する積極的な情報発信

#### (3) 周遊促進、観光客の満足度向上

- ① 各地域の拠点となる施設等での観光案内機能の強化
- ② 県観光コンベンション協会や広域観光組織等と連携したデジタルツール等による案内機能強化

#### (4) 地域の活性化に向けて

- ① 地域ならではの食資源を生かしたグルメの磨き上げや土産品の開発
- ② 学校での教育活動等と連携した自然学習などの機会創出
- ③ 地域コミュニティの維持や活性化

#### (5) 市町村の取り組みに対する県からの支援

- ① 市町村へのアドバイザー派遣及び財政支援、産業振興等に係る各種支援

### 6 県民参加によるおもてなしや地域活性化の取り組み

#### (1) 地域コミュニティと協働した取り組み

- ① ボランティア団体や集落活動センターなどでの花や植樹の活動

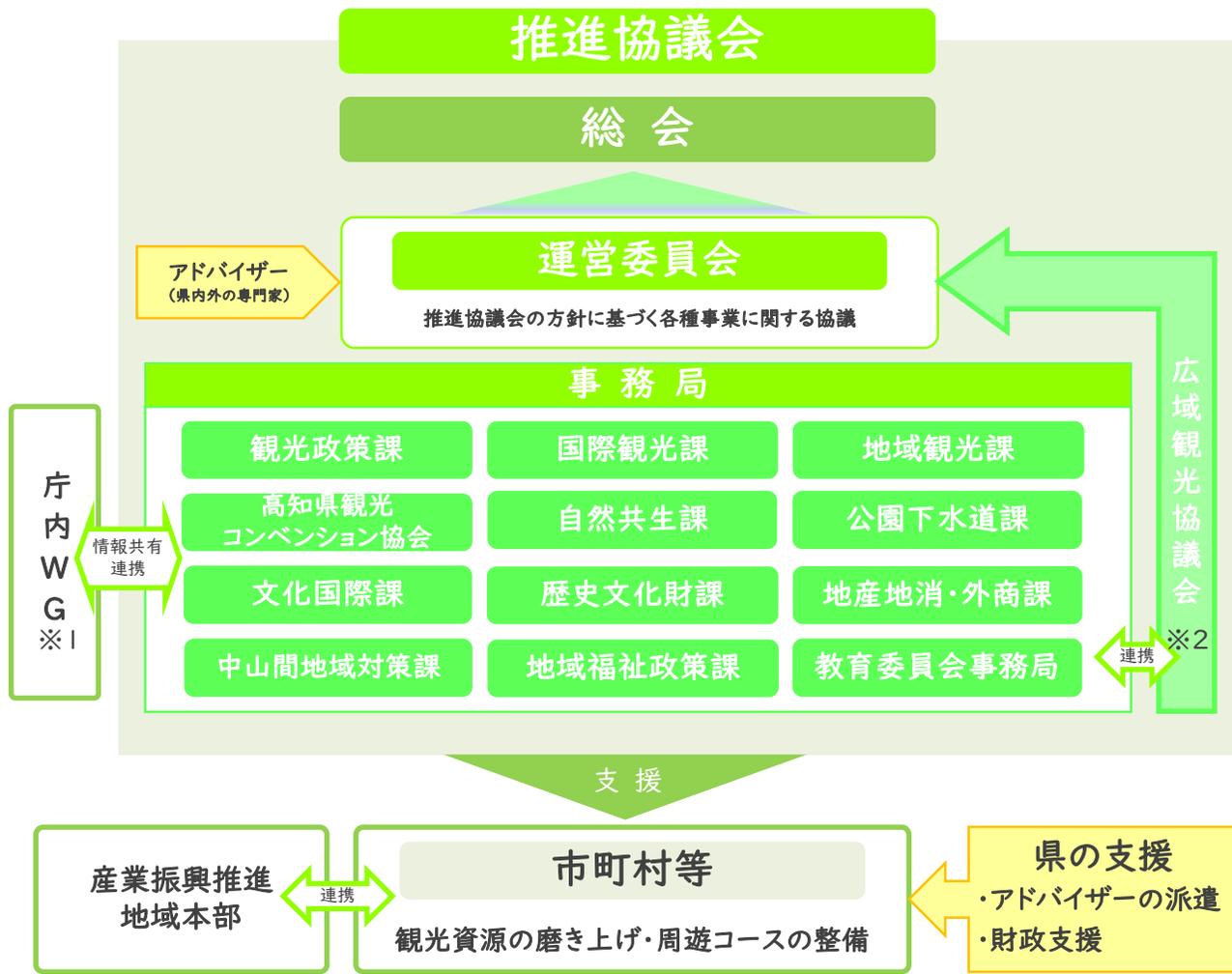
#### (2) 学校等と協働した取り組み

- ① 野外活動や、地域資源を活用した土産品開発
- ② 学生による観光ガイド等の地域振興の取り組み

#### (3) 企業活動と協働した取り組み

- ① 草花をテーマにした地域活動や行事等に関する協働促進

県、市町村、観光関係団体による推進協議会を設置し、官民協同により博覧会を推進。



**【推進協議会の構成】**

129団体 119名  
(令和4年5月時点)

<会長>  
高知県知事 濱田 省司

<副会長>  
高知県市長会会長、高知県町村会会長、  
高知県商工会議所連合会会頭

<顧問>  
・県議会議長、市議会議長会会長、町村議会議長会会長

<委員>  
・県、県教育委員会、県内34市町村  
・市町村観光協会、広域観光組織  
・県商工会議所連合会、県商工会連合会、金融機関、  
土佐経済同友会、高知県経営者協会ほか  
・高知県旅館ホテル生活衛生同業組合、高知県土産品  
協会、高知県観光ガイド連絡協議会ほか  
・全日本空輸、日本航空、フジドリームエアラインズ、四国  
旅客鉄道、土佐くろしお鉄道、高知県バス協会、高知県  
ハイヤー・タクシー協議会ほか  
・その他、観光、歴史等に関連する各種団体、企業

<参与>  
・県内新聞社(支局)、テレビ局、ラジオ局



※1 市内WG: 県市内の知事部局と教育委員会事務局で構成するワーキンググループ  
 ※2 広域観光協議会: 複数の市町村を活動エリアとし、広域的な観光地域づくりを担う一般社団法人。  
 高知県東部観光協議会、物部川DMO協議会、土佐いほく観光協議会、仁淀ブルー観光協議会、  
 奥四万十高知、幡多広域観光協議会の6法人。